

2015年度 公益社団法人鎌倉青年会議所 理事長報告

本年、鎌倉青年会議所は31名でスタートを切ることになりました。非常に少ない会員数ではありますが、会員ひとりひとりが団結すればどんな事もなし得る、そんな意味を込めてテーマを「百花斉放」としました。そして、51年目の迎えるにあたり、さらに50年間先の未来がより良いものになる為、さらには若者らしく主体性を持って青年会議所運動を邁進すべく、スローガンを「新たなスタートを主体性を持って次世代につなげよう」を掲げ3委員会を設け一年間活動して参りました。

まず、日向委員長が率いるまちづくり委員会は、まちに対する意識を向上させるべく活動していただきました。4月には神奈川県議会議員選挙に伴う公開討論会を開催し、市民に対して政治への参画を促しました。5月には第47回慈善茶会を担当していただきました。2月に永年お世話になりました永井宗圭先生のご逝去により、例年以上に苦勞された点が多くありましたが無事成功に終わることが出来ました。委員会のみならず、ご協力くださいました方々には感謝の念が堪えません。8月、11月は鎌倉市における問題解決をすべく、まずは鎌倉市長にお越しいただき、今ある問題をご講演いただくと同時に会員との意見交換、そしてそれを基にエコパーク2015と銘打って市民に対してまちの問題を意識付け、そして解決すべく事業を開催いたしました。

牧田委員長が率いる拡大アカデミー委員会は、会員の拡大とメンバーの研修事業を担当しました。まず、神奈川ブロック会長公式訪問を2月例会として開催し、ブロック会長輩出の意義、神奈川ブロック協議会の事業を学ぶ機会となりました。6月例会は3LOM合同例会を逗子葉山青年会議所主管の下、藤沢青年会議所と共に葉山の地にて開催し、鎌倉市在住で鎌倉市教育委員長をお務めになっております下平久美子氏をお招きして、コミュニケーションを学ぶ事業を開催し、「伝える」事の重要性を学びました。さらに10月例会では鎌倉市内の同年代の寺社関係者とこれからの鎌倉について意見交換会を行い、今後も意見交換をする場が必要だという声が多くあがりました。また、本年度は新たに8名がメンバーとして加わる結果となりました。しかし、数字の結果以上に2016年度に向けて新たな人材が発掘できた一年になったと確信しております。

長南委員長が率いる総務渉外委員会は3回の総会と5回の例会を担当して下さいました。1月例会の新年式典・賀詞交歓会では例年になく多くの方々にお越しいただいた中での開催となりましたが、盛大に開催され最高の一年のスタートと切ることができました。3月例会メモリアルデーでは創立のお祝いをすると共に、新入会員を先輩方に紹介する機会を設け、OBと現役の交流を深めることができました。7月例会では次年度理事長に選出されました渡邊智治君の門出を盛大にお祝いし、9月例会である神奈

川ブロック大会相模原大会ではブロック会長輩出LOMということをしかりと受け止め現役のみならず、OBにも参加を促していただきました。そして、12月例会も本年度の最後に相応しい厳粛ではあるものの、和やかな雰囲気の中で5名の卒業生を送りだしていただきました。

そして本年度を振り返る上で特筆すべきは、26年ぶりに神奈川ブロック協議会会長として石井紀彦君を輩出したことです。当然のことながら、前回のブロック会長輩出当時を知る現役メンバーは誰一人いません。故に分からない事、戸惑う事も多くありましたが、石井紀彦会長をはじめ神奈川ブロック協議会役員の皆様、林雅巳会長をはじめとします鎌倉JCシニアクラブの皆様のご指導とご協力の下、何とか一年を過ごすことができました。私自身も多くの事を学びましたが、何よりも「会長を輩出したからそれで終わりではない」という事を皆様にお伝えしなければなりません。鎌倉JCの真価が問われるのは2016年度以降であります。そしてこれから先、再びブロック会長を輩出させていただく機会が何年後に来るかは分かりませんが、いつそのような機会が来ようとも、本年度以上にLOMがしっかりと支える事ができる力を常に備えておかなければなりません。さらに、ブロック会長を輩出することで神奈川ブロック協議会のみならず、例年以上に日本JC、関東地区協議会の行う事業に参加する機会が多くありました。例えば鎌倉青年会議所が行っていた事業であるてらこや活動です。既に我々の手から離れ全国に広がりを見せているが、NPO法人鎌倉てらこや理事長の上江洲慎氏を、日本JC第29回人間力大賞にエントリーし、文部科学大臣賞を受賞することができました。

てらこや活動を知らない現役にとっては、鎌倉青年会議所の歩みを知るきっかけも作りたかったのです。

今、改めて思うのは、それぞれの会員の皆さんが活動していただいた中で、誰一人欠けては2015年を終える事はできませんでした。それは本年度のテーマ「百花斉放」が達成できたと言えます。しかし、本年度の経験を常に活かし続けなければ、この地に青年会議所運動を推し進める意味はありません。慈善茶会を継続すること、嬉しかった事、悲しかった事、新たな出会いと別れ、その全てが偶然ではなく「必然」であると今はそう思えてなりません。私も例外無く、本年度の経験をこれからの世代の為に活動して参りたいと強く考えております。最後になりますが、次年度段階から含め1年半に亘り委員会を導き、共に青年会議所運動を推し進めて下さいました、磯部伸夫副理事長、渡邊智治副理事長、常に私のみならず会員に対してもご指導と見守って下さった石井紀彦特別理事、大崎厚郎監事、樋渡悠浩監事、石渡隆雄直前理事長、最後まで一緒に走り抜いてくれました蓮見太郎専務理事に心より感謝と御礼を述べ、理事長報告とさせていただきます。

一年間ありがとうございました

第51代理事長 川島吉弘

副理事長報告

副理事長 磯部 伸夫

本年度、鎌倉青年会議所の会員としての最後の年に副理事長を務めさせていただきました。

私が担当をさせていただいたのは牧田委員長率いる拡大アカデミー委員会であり、会員が減少傾向にある中で、拡大、広報、研修といった重要な役割を担いました。拡大事業では入会対象者に青年会議所の魅力を説明し、理解してもらうことの難しさを痛感しました。そのような中でも、委員長と共に精一杯にやり遂げる意思を持って行動をして参りました。広報事業では、主にホームページの更新作業において委員会をサポートしてきました。研修事業では、ブロック会長公式訪問、3 LOM合同例会等、外部との交流を持つ研修例会を構築し、委員長と共に達成感を味わうことができました。年間を通じて、会員拡大、新入会員育成の面で、満足のいく結果が得られなかった部分もありますが、各所で次年度以降の拡大にも繋がる活動ができたと思っております。

最後に、副理事長として共に活動した渡邊副理事長、運営にご尽力いただいた蓮見専務、1年間を共に切磋琢磨しながら活動できたことは私自身の貴重な経験になりました。また、委員会運営を行っていた牧田委員長、長野副委員長とそれをサポートしていただいた委員会メンバー、そしてこのような貴重な機会を与えて下さいました川島理事長に感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。

副理事長 渡邊 智治

私は2015年度、公益社団法人鎌倉青年会議所の副理事長を務めさせていただきました。職務としましては、理事長の補佐、担当委員会の指導、各関係諸団体との交流、渉外事業への参加がありました。その中でも慈善茶会を含めての茶道関係者との交流は私自身も初めての部分が多く戸惑う部分もございましたが、それ以上に多くの出会いがあり、茶道を通じて様々なことを学ぶことができました。

担当させていただきましたまちづくり委員会では、日向委員長を中心として、慈善茶会を含め年間4回の例会行いました。

様々な事がありましたが、副理事長という立場で、理事長を支え一年間職務を私なりに精一杯行いました。この役職を頂き、多くのことを学んで確実に成長させていただきました。

最後となりますが、副理事長という役職を下さいました川島理事長をはじめ蓮見専務理事、磯部副理事長、日向委員長をはじめとするまちづくり委員会のメンバー、そして全ての皆様に感謝申し上げ副理事長報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

専務理事報告

専務理事 蓮見 太郎

2015年度の川島理事長体制の元、私は専務理事の役職を務めさせていただきました。専務理事の職務としては、理事長、副理事長の補佐、理事会、総会の運営を担う総務渉外委員会の担当、会の予算管理を行う財務の担当、また鎌倉市内外の関係諸団体との連絡調整など多岐にわたる業務がございました。また2015年は神奈川ブロック協議会会長に石井紀彦君を輩出できたことにより、神奈川ブロックの関係者皆様と多くの連絡・情報交換の機会がありました。

経験不足な中で、この重要な年度の専務理事という大役をお引き受けすることには大きな不安がありました。しかし、この年度でなくては味わえない機会や見られなかった景色など沢山の嬉しい瞬間があり、それは私自身にとってかけがえのない学びとなりました。「鎌倉青年会議所」の看板を身に背負って一心に走り続ける川島理事長、そして石井ブロック会長にもっと輝いていただけるように。そんな想いで、重厚な神輿の花棒を担がせていただく栄誉にひたれた一年間でした。

担当いたしました総務渉外委員会では、私の指導不足の状況にも関わらず、長南委員長と共に委員会メンバーが力を結集し、すべての総会、例会を成功裡に収め、そして毎月の理事会運営を滞り無く行ってくださいました。杉浦財務理事にも、多くのご尽力を頂きました。

最後となりますが、この鎌倉青年会議所の専務理事という御役目に、まだ未熟者である私にチャンスを下された川島理事長、ご指導、ご鞭撻誠にありがとうございました。いつも適切なアドバイスをくださった渡邊副理事長、磯部副理事長、そして石井会長をお支えし神奈川ブロック協議会の窓口役を務められた大崎運営専務、樋渡事務局長、そしてLOMを支えてくださったすべての皆さまに感謝を申し上げて専務理事報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

2015年度 委員会事業報告

まちづくり委員会

拡大アカデミー委員会

総務渉外委員会

まちづくり委員会

- 委員長名：日向 智則
- 副委員長名：メタ バラッツ
- 委員名：大森 啓田、黒木 伸太郎、坂本 創志、御代川 洋平、吉村 桃実、脇本 遼、中根 重義、齊藤 千尋、山北 敦

1) 事業報告

(I) 市民参画の意識を向上させる事業の開催

- (a) 内容：神奈川県議会選挙に伴う公開討論会開
- (b) 時期：2015年 4月 1日 (水曜日)
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所 地下ホール
- (d) 対象：正会員21名 OB 7名 来訪JC 5名 市民27名
立候補予定者 2名 手話通訳者 2名

(II) まちに対しての関心をより高める事業の開催

- (a) 内容：第47回慈善茶会
- (b) 時期：2015年 5月23日 (土曜日)
- (c) 開催場所：大仏殿高德院 鎌倉市長谷4-2-28
- (d) 対象：正会員28名 OB 23名 お客様(茶券)499名
松林庵関係者12名 淡交会鎌倉支部12名
淡交会鎌倉青年部30名 鎌倉女子大学茶道部32名
鎌倉高校12名 七里ガ浜高校12名 深沢高校12名
大船高校17名 鎌倉ユネスコ協会34名
こぼとナーサリー36名 鎌倉ファンド 5名
参拝客約1,500名

(III) 関係諸団体との信頼関係を深める事業の開催

- (a) 内容：第47回慈善茶会後の懇親会の開催
- (b) 時期：2015年 5月23日 (土曜日)
- (c) 開催場所：華正樓 鎌倉市長谷3-1-14
- (d) 対象：正会員22名 OB 4名 協働団体関係者16名
ゲスト 1名

(IV) 意識の向上を図る事業の開催

- (a) 内容：①鎌倉市長の講演・意見交換会
②エコパーク2015
- (b) 時期：①2015年 8月18日 (火曜日)
②2015年11月 1日 (日曜日)

- (c) 開催場所：①鎌倉商工会議所 301会議室・102会議室
②鎌倉市役所
鎌倉商工会議所 地下ホール 102会議室
- (d) 対象：①正会員27名 OB 1名 鎌倉市長
ゲスト 2名
②正会員18名 OB 3名 鎌倉市長
市民 210名

2) 委員会報告

私たちの住む鎌倉は、日々住み良いまちとして成長してきました。その反面成長していく過程において様々な問題に直面してまいりました。これからも成長していくためには、まちが抱える問題に対して地域の皆様が、主体的に取り組む必要性があると考えまちづくり委員会は1年間活動してまいりました。

当委員会では統一地方選挙が開催されるにあたり、自らの責任で誇れるまちをつくる市民参画の意識を向上させる必要があると考え、公開討論会を開催致しました。選挙権が18歳以上になる可能性を考慮して、鎌倉市の各学校にも広報をさせていただきましたが、委員会として十分なフォローが出来ず、結果的に学生の参加は得られませんでした。しかし市民の皆様に対して政治に興味を持ち、参画意識を向上させる機会を提供することができたと考えます。5月には東日本大震災をきっかけにして、人々の価値観には大きな変化が occurred。そのことをきっかけにして、人とのつながりや、物を大切に、自らできることを率先して行っていこうという意識が強まりました。未来に理想的な環境を受け渡すために必要であり、震災で被災された地域の未来にも寄与することを考え、テーマ「未来への架け橋」を掲げ、5月例会として第47回慈善茶会を大仏殿高德院にて開催致しました。各部会においてテーマを意識して茶券・チラシ・募金箱・点心のメニュー等作成しておもてなしをすることで、寄付先である浜街道・桜プロジェクトをイメージし意識が高まったと考えます。その後この懇親会にて諸先輩方との交流や当日の事を振り返り、ご協力頂いている皆様への感謝の意をお伝えすることが出来たと共に、活動を支えて頂いている関係諸団体の皆様との信頼関係をより一層深めることが出来たと確信しております。8月例会では鎌倉市長をお招きし、まちの現状やまちが抱えている問題についてご講演頂きました。その後鎌倉市長を中心に意見交換を行いました。鎌倉の身近な問題点を改めて認識して、現状を学ぶことが出来ました。8月例会の内容を踏まえて11月例会では市民の皆様へまちの問題の中でもゴミの分別やエコ活動をより身近に感じて頂く為にエコパーク2015を開催させて頂きました。講師の方をお呼びしお子様へよりわかりやすく講演をして頂きました。また鎌倉市役所の駐車場にてセグウェイの試乗体験を行う事で大人の方も楽しみながら学ぶ設営を致しました。

1年間を通じて様々な事を経験させて頂きました。また自分自身も勉強させて頂きました。まちが抱える問題は沢山あり解決するということは非常に困難であることを目の当たりにしましたが、少しでも意識が変わってくれば少しずつ変化していくのではないかと感じました。1年間本当にありがとうございました。

拡大アカデミー委員会

- 委員長 名：牧田 芳明
- 副委員長 名：長野 トーマスマコト
- 委員 名：大谷 章、永田 磨梨奈、二見 宏史、松永 充広、宮川 史生、山本 朋広、野村 亮介、津田 康有、田中 健雄

1) 事業報告

(I) 会員拡大並びに広報活動の実施

- (a) 内 容：会員拡大並びに広報活動、拡大ツールの作成
- (b) 時 期：2015年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉市内及び近隣各所
- (d) 対 象：新入会員 8名

(II) 青年会議所活動の意義並びに広報、拡大を学ぶための事業の開催

- (a) 内 容：①2月例会 神奈川ブロック協議会会長公式訪問の開催
②10月例会の開催
- (b) 時 期：①2015年 2月 9日（火曜日）
②2015年10月13日（火曜日）
- (c) 開催場所：①生涯学習センター 5F
②鎌倉五大堂 明王院並びにレグリーズ鎌倉
- (d) 対 象：①正会員26名 ゲスト 2名 来訪JC33名
②正会員26名 ゲスト 2名 寺社関係者 4名

(III) 近隣LOMと交流し会員の資質向上を目的とした事業の開催

- (a) 内 容：6月例会 3LOM合同例会の開催
- (b) 時 期：2015年 6月29日（月曜日）
- (c) 開催場所：葉山港管理事務所 3F 多目的室
- (d) 対 象：公益社団法人 鎌倉青年会議所19名 ゲスト 1名
一般社団法人 逗子葉山青年会議所10名
一般社団法人 藤沢青年会議所18名

2) 委員会報告

拡大アカデミー委員会では、本年度、会員拡大に広報活動を織り込むと同時に会員が青年会議所活動に対する理解を深める事業を開催しました。この広報、拡大、研修をうまくかみ合わせる事が、青年会議所活動の大きな推進力になると考え一年間活動をしてまいりました。

会員拡大事業並びに広報事業では、SNSと公式HPを中心に例会以外の場面での更

新も行うと同時に、新たに作成したポスターとチラシを使い入会希望者へのオリエンテーションを行いました。8名の新入会員の入会という成果だけでなく、今回行った拡大活動と広報活動の連携は、今後拡大活動を継続していくうえで非常に重要な要素である事がわかりました。

次に、アカデミー事業においては、2月、10月の各例会において会員自身が青年会議所活動について学ぶとともに現在、鎌倉青年会議所と接点が希薄となっている、寺社仏閣の若手の御住職様達と交流する事で、新たな学びと、拡大の機会を作りました。また、近隣LOMと交流する事で、共に学び互いの活動に刺激を受け、会員の資質向上につなげました。

当委員会はメンバー一同、一年を通じて、永遠の継続事業と言われる拡大活動を行う中で、拡大活動だけでなく様々な活動を連携させる事が、有効な手段であり、それは今後、青年会議所活動を推し進める上で、大きな推進力になると確信致しました。

最後となりますが、ご指導いただきました川島理事長をはじめとする正副理事長の皆様、温かくご指導いただいた当委員会担当の磯部副理事長、励ましあい、時には意見をぶつけ合いながら事業を創り上げた委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

総務渉外委員会

- 委員長名：長南 光紀
- 副委員長名：竹生田 修
- 委員名：今村 広太郎、大西 広朗、斉藤 正朗、杉浦 大介、橋本 航季
宮沢 輝、山田 亨、松倉 忠

1) 事業報告

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営
- (b) 時期：2015年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所202会議室他

(II) 交流会の開催

- (a) 内容：①賀詞交歓会の開催
②メモリアルデーの開催
③次年度理事長を囲む会の開催
④「年末式典・卒業式」・「卒業生を送る会」の開催
- (b) 時期：①2015年 1月20日（火曜日）
②2015年 3月13日（金曜日）
③2015年 7月14日（火曜日）
④2014年12月21日（火曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉パークホテル 海星の間 翠雲の間
②山下飯店
③チャイナダイニング千馬
④鎌倉華正楼
- (d) 対象：①正会員27名 OB36名 入会希望者12名
来賓30名 来訪JC74名
②正会員23名 OB16名 ゲスト 1名
③正会員29名 OB19名 ゲスト 1名
④正会員28名 OB26名 ゲスト 1名

(III) 渉外に関する事業

- (a) 内容：①(公社)日本青年会議所の事業への参加
②関東地区協議会の事業への参加
③神奈川ブロック協議会の事業への参加
④出向者支援
⑤関係諸団体の事業への参加
- (b) 時期：2015年 1月～12月
- (c) 開催場所：①青森県八戸市他

- ②神奈川県三浦市他
- ③神奈川県内及び近隣地域
- ⑤鎌倉市内及び近隣地域

(d) 対象：①正会員 10名
②正会員 11名
③正会員 21名　OB 9名

2) 委員会報告

鎌倉青年会議所は、強固な組織基盤を確立する事で様々な活動を行ってきました。その活動を今後も継承していくために本年度の総務渉外委員会ではよりよい事業を構築するための運営をして、会員の活動に対する意識の向上を図る事で一年間活動をしてまいりました。

会議の開催及び青年会議所運営全般において、総会や理事会などの諸会議は重要な意思決定機関であり、これらを的確に運営し、正確な総会資料を作成する事により会員へ当会議所の活動に関する理解を深める事に繋がり、会の中核の強い骨格を組成する事ができました。また、正確な議事録の作成と迅速な配信を行う事によって各委員会は時間的な猶予をもって議事に臨む事ができ、それはよりよい事業を構築するための一助になったと考えております。

次に、交流事業においては、各例会において事業の目的を明確にし、会員にそれを周知する事で多くの参加者を募ることができました。諸先輩方との交流においても3月例会、7月例会では今後の当会議所の活動において諸先輩方にご意見を伺う場面を設ける事で懇親を深めると同時に当会議所にとっても実りのある時間になりました。しかしながら、諸先輩方に関してはその都度、熱心な動員を心掛けて行ってきましたが、諸先輩方がもっと参加をしたくなるような設えを行う事でより多くの参加者を募る事ができたと感じております。

次に渉外に関する事業においては、日頃からお世話になっている鎌倉市内の関係諸団体が行う事業へ会員の積極的な参加を促すことで地域との信頼関係をより深める事ができたと考えております。また、日本青年会議所、関東地区協議会、神奈川ブロック協議会の各事業へ参加をした会員は各地青年会議所との交流を深めると同時に今後の当会議所の活動においてもより広い視野を持って臨めるきっかけになったと考えております。そして、当委員会としても会員に各事業への参加目的を明確にし、参加を促進する事で本年度、出向をしている会員を支援する事にも繋がったと考えております。

当委員会はメンバー一同、一年を通じてそれぞれの委員会メンバーができる事をしっかりと行い、充実した委員会活動を行う事ができました。組織力の向上という目標を掲げた当委員会の小さな組織力が当会議所において大きな組織基盤を築くための一助になり、今後の活動に繋がっていく事を考え活動をしてまいりました。最後になりますが、一年間多くの時間を共に過ごささせて頂きました会員の皆様と事業を構築するにあたりご意見、ご協力、ご参加を頂きました全ての皆様に御礼を申し上げ、総務渉外委員会の委員会報告とさせていただきます。

一年間、ありがとうございました